

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公表番号】特表2002-538774(P2002-538774A)

【公表日】平成14年11月19日(2002.11.19)

【出願番号】特願2000-592315(P2000-592315)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 07 K	14/82	(2006.01)
C 07 K	16/32	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 P	21/02	(2006.01)
C 12 Q	1/68	(2006.01)
G 01 N	33/53	(2006.01)
G 01 N	33/566	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	M
C 07 K	14/82	
C 07 K	16/32	
C 12 N	1/15	
C 12 N	1/19	
C 12 N	1/21	
C 12 P	21/02	C
C 12 Q	1/68	A
G 01 N	33/53	M
G 01 N	33/566	
C 12 N	5/00	A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年2月1日(2011.2.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】以下：

- (a) 配列番号12のアミノ酸1～1053をコードするポリヌクレオチド；
- (b) 配列番号12のアミノ酸2～1053をコードするポリヌクレオチド；
- (c) 配列番号13のアミノ酸1～1077をコードするポリヌクレオチド；
- (d) 配列番号13のアミノ酸2～1077をコードするポリヌクレオチド；
- (e) (a)、(b)、(c)、または、(d)のポリヌクレオチドに1または数個の核酸の置換、付加、または、欠失を有するポリヌクレオチドであって、ここで、該ポリヌ

クレオチドにコードされるポリペプチドがGDP-GTP交換活性を有する、ポリヌクレオチド；および

(f) (a)、(b)、(c)、(d)、または、(e)のポリヌクレオチドのポリヌクレオチド相補体、

からなる群から選択されるポリヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項2】 配列番号9または配列番号10のコード領域由来の全長ヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項3】 配列番号9のヌクレオチド1～1346または配列番号10のヌクレオチド1～1274由来の20個連続したヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項4】 配列番号9のヌクレオチド51～1346または配列番号10のヌクレオチド51～1274由来の50個連続したヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項5】 ポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む単離された核酸分子であって、ここで1または数個のアミノ酸の置換、付加、または、欠失を除いて、該ポリペプチドが以下：

(a) 配列番号12の1位～1053位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；
 (b) 配列番号12の2位～1053位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；
 (c) 配列番号13の1位～1077位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；および

(d) 配列番号13の2位～1077位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；からなる群から選択される核酸配列によってコードされるアミノ酸配列を含み、ここで、該ポリペプチドは、GDP-GTP交換活性を有する、単離された核酸分子。

【請求項6】 請求項1に記載の核酸分子をプロモーターへ作動可能な連結でベクター中に挿入する工程を包含する、組換えベクターを作成する方法。

【請求項7】 請求項6に記載の方法により生成される組換えベクター。

【請求項8】 請求項7の組換えベクターを宿主細胞中に導入する工程を包含する、組換え宿主細胞を作製する方法。

【請求項9】 請求項8に記載の方法により生成される、組換え宿主細胞。

【請求項10】 ポリペプチドを產生する組換え方法であって、該ポリペプチドが発現されるような条件下で、請求項9に記載の組換え宿主細胞を培養する工程および該ポリペプチドを回収する工程を包含する、方法。

【請求項11】 以下：

(a) 配列番号12の1位～1053位のアミノ酸；
 (b) 配列番号12の2位～1053位のアミノ酸；
 (c) 配列番号13の1位～1077位のアミノ酸；および
 (d) 配列番号13の2位～1077位のアミノ酸、

からなる群から選択されるアミノ酸に対して少なくとも90%同一なアミノ酸を含む、単離されたポリペプチドであって、GDP-GTP交換活性を有する、ポリペプチド。

【請求項12】 単離されたポリペプチドであって、1または数個のアミノ酸の置換、付加、または、欠失を除いて、該ポリペプチドが、以下：

(a) 配列番号12の1位～1053位のアミノ酸；
 (b) 配列番号12の2位～1053位のアミノ酸；
 (c) 配列番号13の1位～1077位のアミノ酸；および
 (d) 配列番号13の2位～1077位のアミノ酸、

からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、単離されたポリペプチドであって、GDP-GTP交換活性を有する、ポリペプチド。

【請求項13】 以下：

(a) 配列番号12の1位～1053位のアミノ酸；
 (b) 配列番号12の2位～1053位のアミノ酸；
 (c) 配列番号13の1位～1077位のアミノ酸；および

(d) 配列番号13の2位～1077位のアミノ酸、
からなる群から選択されるアミノ酸を含む、単離されたポリペプチド。

【請求項14】 請求項11に記載のポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項15】 請求項12に記載のポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項16】 請求項13に記載のポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項17】 以下：

(a) 配列番号9のヌクレオチド1～1346、配列番号9のヌクレオチド51～1346、配列番号10のヌクレオチド1～1274、配列番号10のヌクレオチド51～1274からなる群から選択される配列の相補体の少なくとも15個連続したヌクレオチドからなる核酸配列を含むポリヌクレオチドプローブを提供する工程；および

(b) 該ポリヌクレオチドプローブをTIA M2_LのmRNAと接触させる工程、
を包含し、ここで該TIA M2_LのmRNAは、

a) 配列番号9に示されるヌクレオチド；

b) 配列番号10に示されるヌクレオチド；および

c) a)またはb)によってコードされるポリペプチドから20個未満のアミノ酸が欠失、付加または置換によって変化するポリペプチドをコードするポリヌクレオチドであって、該c)によってコードされるポリペプチドは、GDP-GTP交換活性を有する、ポリヌクレオチド

からなる群から選択される、サンプル中のTIA M2_LのmRNAの発現を検出する方法。
。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0071

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0071】

TIA M2タンパク質としては、変異体、フラグメント、融合物、および配列番号6、配列番号8、配列番号9、配列番号10、またはそれらのフラグメント中に列挙される配列によってコードされるタンパク質が挙げられる。ネイティブTIA M2タンパク質は、天然に存在するタンパク質である。ネイティブポリペプチドのアミノ酸配列は、わずかに（代表的には、配列番号1、配列番号6、配列番号8、配列番号9、または配列番号10によってコードされる10～20個未満のアミノ酸）変化する配列を含む。